

豊岳澄明 62 僧侶

(玉野市)

7月6日付の本紙玉

野圏版の玉野高校野球

部の記事を読んだ。こ

の春には、県大会の予

選で試合が行われる球

場に選手が間に合わ

ず、不戦敗になったと

いうことだ。この頃の

部員は10人だけで、試

合当日には直島からの船が欠航、3人の部員が球場に来られなかったらしい。

私が在学していたころの野球部は、決して強豪というわけではなかったが、県大会の常連校だった。その後ますます力をつけ、1980年代には夏に3度も決勝に進んでいる。特に印象的だったのは最初の決勝。実際に球場まで応援に行ったのだが、0対1で惜敗。相手の岡山南の川相昌弘投手の球は、めっぽう速かった。

そんな輝かしい歴史を誇る野球部が、一時は窮地に追い込まれていたようだが、新聞記事は1年生が17人も入部し、また甲子園を目指すということも伝えられている。ガンバレ玉野高校野球部。いつかは甲子園のスタンドで校歌が歌えるよう心から願っている。

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。